

報告第25号

一般財団法人つくば市国際交流協会の経営状況を説明する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の上記の議案を次のとおり提出する。

令和8年9月2日

つくば市長 五十嵐立青

2025 年度 事業報告

〔 自：2025 年 4 月 1 日
至：2026 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

1. 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課のみであり、2025 年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

(単位：人)

役 員		職 員	
理事長（非常勤）	1	事務局長（市派遣職員）	1
常務理事	0	総務課	3
理事（非常勤）	8	総務課（市派遣研修職員）	1
監事（非常勤）	2	総務課（非常勤職員）	2
		総務課（多文化共生コーディネーター）	5
		印紙証紙売りさばき所（非常勤職員）	5
計	11	計	17

(2) 評議員会

第1回評議員会（2025 年 6 月 24 日）（コリドイオ大会議室）

- （1）議案第1号 2024 年度事業報告及び計算書類の承認について
- （2）議案第2号 理事の選任について
- （3）議案第3号 評議員の選任について

(3) 理事会

第1回理事会（2025 年 5 月 27 日）（コリドイオ大会議室及び ZOOM）

- （1）議案第1号 2024 年度事業報告および計算書類の承認について
- （2）議案第2号 理事の選任について
- （3）議案第3号 評議員の選任について
- （4）議案第4号 評議員会招集について

第2回理事会（2025 年 10 月 8 日）（コリドイオ大会議室）

- （1）議案第1号 2025 年度事業計画の追加および補正予算について
- （2）議案第2号 2026 年度事業計画の方針について
- （3）報告1 理事長による職務執行状況の報告について

第3回理事会（2026 年 3 月 16 日）（コリドイオ多文化共生ルーム及び ZOOM）

- （1）議案第1号 2026 年度事業計画書及び収支予算書について
- （2）報告1 理事長による職務執行状況の報告について

2025 年（令和 7 年）度事業計画の方針

つくば市内の外国人市民数は、2025 年（令和 7 年）2 月 1 日現在、144 か国 13,971 人（対前年度同月比 1,259 人の増）、国籍別では、中国国籍者（27.1%）が最も多く、次いで、ベトナム（14.2%）、インド（6.7%）、韓国（6.3%）、インドネシア（4.7%）の順となっており、この上位 5 か国で全体の約 6 割を占めています。特に、ベトナム国籍者は当協会が一般財団法人化した 2013 年と比較して約 15 倍となっています。

外国人市民数は、新型コロナウイルス感染症の拡大期を除き、毎年増加しており、今後もこの傾向が続くと予測されます。この増加に対応し、当協会は、外国人市民が安心して生活できる環境整備と多文化共生の推進に注力しています。

このような中、昨年 2 月 12 日つくばセンター地区に「つくば市民センター」と「つくば市消費生活センター」、「国際交流拠点（つくば市国際交流協会）」の 3 つを一体化した新しい市民活動拠点「コリドイオ」がオープンしました。

当協会は、この国際交流拠点において、特に 3 階の多文化共生ルームでは、こどもから大人までを対象とした日本語教室や各国の文化や習慣を紹介する「世界お茶のみ話」などを開催するとともに、コリドイオ 1 階の和室や音楽室、調理・実習室なども活用して、茶道体験、箏体験、世界各国の料理教室、日韓青少年交流を実施するなど、外国人市民と日本人市民との交流を促進しています。

つくば市では、令和 5 年 3 月「第 2 次つくば市グローバル化基本指針」を策定し、目指すゴールを「外国人・日本人の区別なく、すべての人にとって住みやすいグローバル都市」としています。

今後は、市民の積極的な参画を得て、協会事業の強化を図ります。特に、外国人市民の日本語学習などの生活支援や文化交流、情報提供の充実を目指し、市と連携して取り組んでいきます。

特に、生活のための「大人の日本語」や学校で自ら学ぶために必要な学習言語の習得を目指した「こども日本語勉強会」そして、日本と外国の文化を学び合う文化交流の充実を目指して、市と連携して取り組んでいきます。

このような状況に鑑み、2025 年（令和 7 年）度も、引き続き、行政、教育機関及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えるとともに、この国際交流拠点をいかしながら、次の重点目標に取り組みます。

【重点目標】

1. 外国人生活支援体制の充実

日本で生活するうえで、日本語の習得は重要です。

協会では、外国につながる子どもや大人の日本語学習支援を行っています。今後は、支援体制の強化に向けて、ボランティアの確保とフォローアップ、活動しやすい環境整備を進めます。

また、医療通訳ボランティアの市内クリニックへの派遣制度の拡充により、外国人が必要な医療を受けやすい環境づくりを進めていきます。

2. 文化交流事業の充実

つくば市に住む外国人が年々増加している中で、様々な国の文化や習慣、価値観などを理解することは多文化共生社会を目指すうえで重要です。

そのため、外国人市民や日本人市民の文化交流を深められるような事業を計画するとともに、引き続き、「世界お茶のみ話」や「料理教室」などを開催し、異文化理解を促進します。

3. 外国人への情報提供とコミュニティの活性化

外国人市民の生活環境を向上させるためには、情報提供の強化とコミュニティ活動の活性化が重要です。

そのため、外国人が必要とする情報を協会ホームページやフェイスブックで発信するとともに、多文化共生コーディネーターが外国人の視点で役に立つ情報を SNS 等で発信し、コミュニティの活性化を支援します。

年度別 事業計画 比較表

国際交流事業

2025 年度事業計画	2024 年度事業計画
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	A 外国人生活支援事業（対象：外国人）
1 大人日本語講座 (1) 大人日本語講座 (2) 大人日本語講師ボランティア入門講座	1 日本語（大人向け） (1) 日本語講座 (2) 日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学・進学支援 (1) こども日本語勉強会（小中学生） (2) こども日本語勉強会（高校生） (3) 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会 (4) こども日本語支援者研修会 (5) 小中学校就学・高校進学ガイダンス (6) こども日本語支援プラットフォーム会議 (7) プレスクール・プレクラス	2 こども日本語・就学・進学支援 (1) こども日本語勉強会（日本語学習相談） (2) 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会 (3) こども日本語指導者研修会 (4) 小中学校就学・高校進学ガイダンス (5) こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア派遣	3 医療通訳ボランティア派遣
4 メディカル英会話講座	4 メディカル英会話講座
5 やさしい日本語で防災講座	5 やさしい日本語で防災講座
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）
1 つくばフェスティバル	1 つくばフェスティバル
2 文化交流 (1) 世界お茶のみ話（講演会） (2) 日本・外国文化体験	2 文化交流 (1) 世界お茶のみ話（講演会） (2) 日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流	3 姉妹友好都市交流
4 通訳ボランティア入門講座	4 通訳ボランティア入門講座（名称変更）
5 ボランティア募集・派遣 (1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 (2) 外国人生活サポート事業 (3) ボランティア交流会	5 ボランティア募集・派遣 (1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 (2) 外国人生活サポート事業 (3) ボランティア交流会
6 シティ・チャットカフェ	6 シティ・チャットカフェ
C 情報収集・発信事業 （対象：外国人・日本人）	C 情報収集・周知・ニーズ調査事業 （対象：外国人・日本人）
1 広報 (ホームページ・facebook・Instagram・広報誌発行)	1 ニーズ調査・広報 (ホームページ・facebook・広報誌発行)
2 多文化共生推進事業	2 多文化共生推進事業
3 賛助会員募集	3 賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）	D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）
-------------------------------	-------------------------------

2025 年（令和 7 年）度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1	大人日本語講座 (1) 大人日本語講座 (2) 大人日本語講師ボランティア入門講座
2	こども日本語・就学・進学支援 (1) こども日本語勉強会（小中学生）（拡充） (2) こども日本語勉強会（高校生）（新規） (3) 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会 (4) こども日本語支援者研修会 (5) 小中学校就学・高校進学ガイダンス (6) こども日本語支援プラットフォーム会議 (7) プレスクール・プレクラス
3	医療通訳ボランティア派遣
4	メディカル英会話講座
5	やさしい日本語で防災講座
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1	つくばフェスティバル
2	文化交流 (1) 世界お茶のみ話（講演会） (2) 日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流
4	通訳ボランティア入門講座
5	ボランティア募集・派遣 (1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 (2) 外国人生活サポート事業 (3) ボランティア交流会
6	シティ・チャットカフェ
C 情報収集・発信事業（対象：外国人・日本人）	
1	広報（ホームページ・facebook・Instagram・広報誌発行）
2	多文化共生推進事業
3	賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2. 事業詳細

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）

1 大人日本語 講座

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として実施した。

受講者の希望から対面授業とオンライン授業を実施した。

また、ボランティアの育成のため、日本語ボランティア入門講座を年2回開催し、さらに現ボランティアのための勉強会を開催した。

教室運営は、日本語ボランティア講師（TIVONA の会）が担っている。

（1） 大人日本語講座

【実績】

① クラス数：前期 10 クラス、後期 10 クラス（日本語 1～4、読み書き、日本語の会）

② 期 間：前期（4月～7月、150回）、後期（10月～2月、150回）

③ 方 法：対面及びオンライン（Zoom）開催

④ 受講者数及び講師数：

区 分	受講者	講師
前 期	112 名	37 名
後 期	138 名	38 名
合 計	250 名	75 名

⑤ 参加費：2,000 円 ※ウクライナ避難民については無料とした。

⑥ 課外授業（TIVONA の会企画運営）

・お茶会（茶道体験および百人一首等の体験）

8月2日 受講者 17 名、ボランティア 18 名

・真壁ひなまつりバスツアー

2月7日 受講者および家族 38 名、ボランティア 8 名

（2） 日本語講師ボランティア入門講座

【実績】

クラス	動画視聴	対面授業	受講者
5月クラス	5月24日～6月6日	6月7日	19名
10月クラス	10月11日～24日	10月25日	18名
合 計			37名

講座終了後、希望者は見学を経て講師ボランティアとして参加した。

- ① 講 師：井上里鶴（りず）氏（麗澤大学准教授、
茨城県日本語教育アドバイザー）

TIVONA の会

- ② 対象者：ボランティアで外国人に日本語を教えてみたい人
③ 方 法：動画視聴（30 分 4 本）及び対面
④ 会 場：コリドイオ大会議室または多文化共生ルーム
⑤ 参加費：2,500 円（賛助会員割引）

（３） 講師勉強会

大人の外国人に日本語を教えるボランティアが、助け合いながら良い授業をするための勉強会を開催した。

内容は「日本語学習者に対しての傾聴について」であった。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 12 月 6 日（土）
② 講 師：吉田有美（日本語学習支援者・キャリアカウンセラー）
③ 対象者：TIVONA の会会員
④ 会 場：コリドイオ多文化共生ルーム
⑤ 参加者：18 名
⑥ 参加費：無料

2 こども日本語・就学・進学 支援

【概要】

外国につながるこども達の日本語指導及び小中学校への就学や、高校への進学のためのガイダンスを行った。また、こども日本語指導者の育成や、つくば市内のこども達の日本語指導の課題や今後の支援のあり方などについて、関係団体と共有した。

（１） こども日本語勉強会（小中学生）

市内小中学校では、日本語支援が必要な児童生徒が毎年増加しているため、放課後に個々のレベルに合わせた日本語学習支援を行った。

【実績】

- ① 開催日： 2025 年 5 月 12 日～2026 年 3 月 19 日（月、木）
8 月は休み
② 回 数：クラス 70 回
③ 対 象：つくば市内の公立学校に通う 5 年生から 9 年生まで
④ 参加者：

区 分	受講者	講師
前 期	27 名	19 名
後 期	26 名	18 名
合 計	53 名	37 名

- ⑤ 延べ人数：こども 1,160 人、支援者 540 人
- ⑥ 内 容：日本語勉強会に参加する前に学習相談を実施し、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどものレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。
また、定期的に支援者のミーティングを開催し、こども達の状況や支援方法について共有した。
- ⑦ 参加費：無料（但し、保険料及びテキスト代は参加者負担）

（２） こども日本語勉強会（高校生）

高校に入学したものの日本語の力が十分ではないなどの理由で、早期に退学する生徒も多いため、個々のレベルに合わせた日本語学習支援を行った。

【実績】

- ① 開催日：2025 年 5 月 14 日～2026 年 3 月 18 日（水）
8 月は休み
- ② 回 数：クラス 39 回
- ③ 対 象：つくば市内の公立学校に通う高校生
- ④ 参加者：

区 分	受講者	講師
前 期	4 名	3 名
後 期	3 名	3 名
合 計	7 名	6 名

- ⑤ 延べ人数：こども 53 人、支援者 75 人
- ⑥ 内 容：日本語勉強会に参加する前に学習相談を実施し、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどものレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。
また、定期的に支援者のミーティングを開催し、こども達の状況や支援方法について共有した。
- ⑦ 参加費：無料（但し、保険料及びテキスト代は参加者負担）

（３） 15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会

学齢期（15 歳）を過ぎて来日したこどもは中学校や高校への編入が難しく、進路を選択する場合においても日本語を習得していることは重要であるため、学校に通っていない 15 歳から 18 歳までのこどもを対象とした、本人や家族の希望に沿った日本語支援を目的として実施した。

【実績】

- ① 開催日：2025 年 5 月 15 日～2026 年 3 月 19 日（木、金）
8 月は休み
- ② 回 数：クラス 76 回
- ③ 対 象：つくば市在住の学校に通っていない 15 歳～18 歳まで

④ 参加者：

区 分	受講者	講師
前 期	3 名	3 名
後 期	1 名	2 名
合 計	4 名	5 名

⑤ 延べ人数：こども 36 人、支援者 48 人

⑥ 内 容：日本語勉強会に参加する前に学習相談を実施し、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどもの進路やレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。

⑦ 参加費：無料（但し、保険料及びテキスト代は参加者負担）

（４） こども日本語支援者研修会

（４－１） こども日本語支援者研修会

日本語指導が必要な児童生徒に対する指導者を育成するため、座学と実習を行った。修了者 3 名がこども日本語勉強会で活動を開始した。

【実績】

- ① 開催日：座学：2025 年 8 月 18 日（月）、20 日（水）、25 日（月）、27 日（木）、29 日（金）、14 日（土）（計 5 日間）
座学終了後見学及び実習を経た人を修了者とし、希望者は講師として活動を開始した。
- ② 場 所：多文化共生ルーム
- ③ 講 師：吉田麻子 氏
- ④ 参加者：10 名
- ⑤ 参加費：2,500 円（賛助会員割引）

（４－２） こども日本語支援者フォローアップ研修会

日本語支援者のフォローアップ研修として実施した。

【実績】

- ① 開催日：4 月 26 日
- ② 場 所：多文化共生ルーム
- ③ タイトル：日本語多読「読み聞かせ」「教えない」日本語学習支援
- ④ 講 師：水戸 日本語ボランティアグループ・オルビス コーディネーター
山田野絵 氏
- ⑤ 参加者：30 名

(5) 小中学校就学、高校進学ガイダンス

つくば市教育委員会との協働事業として、小中学校への就学、高校進学ガイダンス、日本語力チェック及び日本語学習のアドバイスを小中学校就学、進学ガイダンスを実施した。

【実績】

- ① 開催日：2024 年 9 月 27 日（土）、10 月 25 日（土）
- ② 場 所：コリドイオ大会議室
- ③ 内 容：小中学校就学ガイダンス、高校進学ガイダンス
- ④ 参加者：26 家庭 50 名、運営：14 名
内訳
小中学校ガイダンス：11 家庭 27 名、運営 6 名
高校ガイダンス：15 家庭 23 名、運営 8 名
- ⑤ 対応言語：日本語、英語、中国語、ベトナム語、シンハラ語
- ⑥ 参加費：無料

(6) つくばこども日本語支援プラットフォーム

【概要】

外国につながる子どもたちの日本語支援を行う関係団体が、つくば市の課題を共有し、国際交流協会としての支援方法について、ご提案いただくことを目的として実施を検討したが、プレクラス準備のため開催することができなかった。

構成団体：筑波大学、日本国際学園大学、風の会、つくば市教育局学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課、NPO センターコモンズ、日本語学校つくばスマイル、当協会（主催者）

(7) プレスクール・プレクラス

【概要】

2026 年 4 月から実施するプレスクール・プレクラスの準備のため、日本語学習支援員の雇用や各種教材等の整備、運営マニュアル等の策定、関係部署との協議等を実施した。

【実績】

- ① 日本語学習支援員：6 名（非常勤職員）
- ② 運営マニュアル（プレクラス）の策定
- ③ 教材の整備、教案等の作成
- ④ 小中学校へのヒヤリング：8 校

3 医療通訳ボランティア派遣

【概要】

外国人が母国語で安心して医療機関を受診できるように、「医療通訳ボランティア派遣協定」を締結した医療機関に医療通訳ボランティアを派遣した。また、昨年から新たな制度設計を行い、病床数が 20 床未満の医療機関（クリニック等）への医療通訳ボランティア派遣を拡充したが、残念ながら利用はなく、実績は下記のとおりである。

【実績】

派遣病院：メディカルセンター病院 3 回（スペイン語）

【今後について】

上記の実績に伴い、長期間に渡り実績が少なく、また茨城県保健医療部医療政策課医療整備の 3 2 言語による「外国人患者に対する医療サービス」が整ったことから当協会の役割は終了したと考え、2025 年度末をもって事業を終了することとした。

4 メディカル英会話講座

【概要】

市内の医療従事者を対象に、外国人の病院受診で必要となる受付・支払いや保険の説明・次回の予約方法についてのメディカル英会話講座を行った。

講座は、昼休みに気軽に受講できるよう Zoom 利用によるオンライン講座として実施した。

【実績】

① 期 日：2025 年 11 月 7 日、14 日、21 日（全て金）
1 科目当たり 60 分

② 場 所：Zoom 利用によるオンライン講座

③ 講 師：上堂 蘭 アン

④ 内 容：受付事務、看護師、歯科医院の 3 科目

⑤ 参加者：延べ 27 名

⑥ 参加費：個人 1 科目 1,000 円

※ なお、当協会賛助会員及び医療通訳派遣協定締結病院の特典として、会員及び登録事業所等勤務者の受講料を免除した。

5 やさしい日本語で防災講座

【概要】

外国につながる方々を対象に、やさしい日本語を用いて、自動車のタイヤ交換用ジャッキを使つての人命救助、災害伝言ダイヤル 171 体験、119 番通報など、6つのミッションを体験しながら防災の知識を得ることを目的として開催した。開催に際しては、つくば中央消防署、つくば市社会福祉協議会にもご支援をいただいた。

【実績】

- ① 事業名：やさしいにほんごで 防災・その準備で大丈夫？その命助けられる？
- ② 期 日：2025 年 11 月 15 日（土）
- ③ 場 所：コリドイオ、つくばセンター広場
- ④ 講 師：水谷浩子 氏（防災士）
- ⑤ 参加者：39 名（ほかスタッフ 23 名）
- ⑥ 主 催：にほんごでおしゃべり！プロジェクトチーム
- ⑦ 共 催：つくば市国際交流協会
- ⑧ 後 援：つくば市、つくば市教育委員会
- ⑨ 協 力：つくば市中央消防署、つくば市社会福祉協議会

B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）

1 つくばフェスティバル事業

【概要】

外国文化の体験（団体活動紹介、民芸品展示・販売、各国の料理販売）を通して、異文化の理解や交流を目的として開催した。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 5 月 17 日（土）、18 日（日）
- ② 会 場：つくばセンター広場、大清水公園
- ③ 来場者：75,000 人
- ④ テント出店：23 団体
- ⑤ 出店者負担金：1 テントあたり、食販 27,000 円、一般 21,000 円
※インターナショナルスクール／外国人学校等応援枠は無料

◇出店者一覧

	団体名	出店内容
1	アフリカの家庭料理シダモ	アフリカの家庭料理を通してアフリカ理解に貢献
2	タイ料理メーマリ	タイ料理

3	Bitte	本場ドイツで10年修業してきたシェフが作る本格的ドイツ料理
4	Ali's Kebab	美味しいケバブサンドを世界の人々に広く知ってもらいたい
5	TODOKE	パレスチナのごはん
6	アルゼンチン料理	エンパナーダやケーキ、チュロスなどを提供します
7	ナイルエジプト料理	エジプトオリジナルケバブ
8	Medonegy (Egyptian kitchen)	食べればエジプト旅行気分！
9	アヤ ケバブ	おいしいチキンバーガー、ビーフバーガー、レバードックを提供します
10	モンゴル料理ひやど	モンゴル料理（羊肉をメインに肉まん、串焼、ミルクティー他）
11	りゅうほう	中華食品の販売・交流
12	BBQ シュラスコ	ブラジル料理
13	アンデスの心	ペルー料理辛くありません、美味しいです
14	Kitchen Japan	日本酒、イカ焼き、ビール、梅酒、梅ジュース、他
15	ヘレナ英会話（つくばヘレナ高等学院ヘレナ中等部）	英語絵本・通信制高校・フリースクール・USA 大学紹介
16	PADANG halal restaurant&market	スパイシー&香り豊かな本格インドネシア料理
17	筑波山ゲルグランピング	筑波山ゲルグランピングからモンゴル文化発信
18	四川料理・麻辣十食	四川料理の実演や販売
19	KOREA 文化交流会	文化紹介
20	日本つくば国際語学院	日本語学校の学生と異文化交流を楽しみませんか？
21	MAK's Dining	Join us to enjoy delicious Indian food from MAK's Dining
22	虹の会 ※18（日）のみ	外国の方に日本語を教えたり、文化交流をしています。
23	TIVONA の会	TIVONA の会と日本の遊び

⑥ ステージ発表：11 団体（下記一覧）

◇ステージ出演者一覧

	団体名	内 容
1	ときめき太鼓塾	和太鼓の響きをお楽しみください！
2	つくば市国際都市推進課	「難民を支える自治体ネットワーク」調印式
3	日本つくば国際語学院	ネパールとタイの大舞踏！
4	Tsukuba Indians	Join us and enjoy music and dance of India
5	NADINI DANCING ACADEMY	スリランカ舞踊
6	Sing! The Ladies	The Soulful Sing! The Ladies
7	モンゴルこどものオルドン（茨城 YMCA）	モンゴル語での歌等の発表
8	GULISTON（グリスタン）	中央アジア・シルクロードの舞
9	LIVIA KODATO	サンバ&ボサノバ
10	SWiT - Small World in Tsukuba つくばで国際交流しよう	音楽やダンスを通じたインターナショナルパフォーマンス
11	ミニモンゴル子どもサークル	モンゴルの歌・ダンス

⑦ 多文化共生ルームイベント

5/17	世界お茶のみ話（アメリカ）	講師：リクター アンナ氏	参加者：35 名
5/18	ベトナムの粘土細工体験 共催：筑波大学ベトナム留学生会メンバー	講師 筑波大学ベトナム留学生会メンバー	参加者：48 名

2 文化交流

（1）「～一杯のお茶から世界が見える～ 世界お茶のみ話」（講演会）

【概要】

主に講演者の母国の紹介又は外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、国際理解の一助となることを目的として実施した。

【実績】

- ① 開催日：毎月第3土曜日
- ② 場 所：コリドイオ多文化共生ルーム、大会議室
- ③ 講 師：21 名

- ④ 参加費：無料
 ⑤ 聴講者：延べ 366 名
 ⑥ 内 容：下記のとおり

2026/4/20 現在

期日	国名	講師	参加者数	YouTube 閲覧回数
2025 年 4 月 19 日	第 92 回 ブラジル	リマ マテウス	26 名	84 回
5 月 17 日	第 93 回 アメリカ	リクター アンナ	35 名	46 回
6 月 21 日	第 94 回 リトアニア	バイティエクーナス リーティス	35 名	59 回
7 月 19 日	第 95 回 カンボジア	ラック チャンクンティ	29 名	43 回
8 月 16 日	第 96 回 中国	チョ シンロ	32 名	61 回
9 月 20 日	第 97 回 ベネズエラ	ルイス トーレス	28 名	65 回
10 月 18 日	第 98 回 ニカラグア	テジェス・ナバロ・セシリア・ガブリエラ	30 名	55 回
12 月 6 日	第 99 回 ウズベキスタン	トランボエフ・ウミドジョン	32 名	65 回
12 月 20 日	第 100 回 つくば・インターナショナル・スクール	TIS の生徒の皆さん	27 名	45 回
2026 年 1 月 17 日	第 101 回 モルドバ	アナ テイシャヌ	31 名	40 回
2 月 21 日	第 102 回 メキシコ	ゴンザレス デルロサル カルロス	32 名	8 回
3 月 21 日	第 103 回 エジプト	ヌーラン ハッサン タンタウィ ファラグ	29 名	11 回

※ YouTube 配信は継続的に行っている。

(2) 日本・外国文化体験

① ドイツ ボーフム市訪問団の日本文化体験

【概要】

つくば市とボーフム市は、連携合意書締結都市の関係にあり、今回来日した訪問団に日本文化の体験の機会として着物着付けと茶道の体験を提供した。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 4 月 25 日
- ② 場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム、和室、さくら民家園
- ③ 講 師：着付け（虹の会と外部ボランティア）12 名、茶道（一掬の会）5 名
- ④ 参加者：ドイツ ボーフム市長訪問団 男 6 名、女 8 名
- ⑤ 内 容：着物の着付けと茶道体験

② 外国人のための日本文化体験

【概要】

つくば市在住の外国人を対象に、3 つ(折り紙、習字、情報)のコーナーを周って、日本文化を体験してもらいつつ、外国人生活サポーターをはじめとする外国人支援情報を提供した。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 6 月 22 日(日)
- ② 場 所：コリドイオ 大会議室
- ③ 講 師：書道（櫻井氏ほか）3 名
- ④ 参加者：13 か国 45 人（内小学生以下 10 人）
- ⑤ 参加費：無料
- ⑥ 内 容：日本文化（書道、折り紙）体験及び外国人支援情報の提供

③ 国際交流のためのスーダン料理教室

【概要】

食をとおして外国文化を知る機会の提供を目的として、料理教室を実施した。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 11 月 29 日（土）
- ② 場 所：コリドイオ調理・実習室
- ③ 講 師：アスマ シディグ氏
- ④ 参加者：16 名
- ⑤ 参加費：2,000 円
- ⑥ メニュー：タミア、ホブズ、スーダン風ナスのサラダ、カスタードクリーム、レモンジュース

④ インドネシア中高生の日本文化体験

【概要】

将来日本に留学を希望しているインドネシアの高校生がつくばを訪れ、日本文化の体験として着物着付けと茶道の体験を支援した。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 12 月 8 日(月)

- ② 場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム、和室、調理・実習室、大会議室
- ③ 講 師：着付け（虹の会と外部ボランティア）12名、茶道（一掬の会）5名
- ④ 参加者：インドネシア高校生 19名、引率者3名
- ⑤ 内 容：着物の着付けと茶道体験

⑤ 外国人のための日本文化体験

【概要】

つくば市在住の外国人を対象に、3つ(しめ縄飾り、書道、クイズ)のブースを周って、日本文化を気軽に体験してもらいながら、身近な生活の話をしたり、市や協会の情報提供を行ったりした。

【実績】

- ① 期 日：2025年12月14日(日)
- ② 場 所：コリドイオ 大会議室
- ③ 講 師：書道（櫻井氏ほか）3名、水引（櫻井氏）
- ④ 参加者：約16か国 62人（内小学生以下18人）
- ⑤ 参加費：無料
- ⑥ 内 容：日本文化（しめ縄飾り、書道）体験、クイズによる市・協会情報の提供

⑥ 国際交流のためのインド料理教室

【概要】

食をとおして外国文化を知る機会の提供を目的として、料理教室を実施した。

【実績】

- ① 期 日：2026年1月24日（土）
- ② 場 所：コリドイオ調理・実習室
- ③ 講 師：ナラヤナン ラウィ チャンドラン氏、ナラヤナン アナンディ氏
- ④ 参加者：16名
- ⑤ 参加費：2,000円
- ⑥ メニュー：アルパラタ、ゴビマタル、ココナッツラドゥ、ラッシー

3 姉妹・友好都市等交流事業

【概要】

市の友好都市である韓国大田広域市との日韓青少年交流事業は、2年間をとおして実施するものである。今年度はつくば市内在住の中学生16名が大田広域市を訪問し、ホームステイや文化体験活動を通じて、現地の中学生と交流した。

【実績】

- ① 期 日：2025 年 8 月 6 日（日）：第 1 回オリエンテーション
8 月 2 日（土）：第 2 回オリエンテーション
8 月 21 日（木）～24 日（日）：韓国大田広域市訪問
8 月 28 日（木）：市長への報告会
10 月 5 日（日）：日本側参加者による全体報告会
- ② 訪問先：韓国大田広域市
- ③ 参加者：つくば市中学生 16 名、大田広域市中学生 16 名
- ④ 引率者：団長 飯村通治、職員 2 名
- ⑤ 参加費：航空券のみ個人負担

4 通訳ボランティア入門講座

【概要】

つくば市在住の、ボランティアで通訳・翻訳を希望する人を対象に、通訳者として気を付けなければならないこと、配慮しなければならないことなどの基礎学習を目的とした入門講座を全編英語で実施した。

【実績】

- ① 期 日：2026 年 1 月 20 日（火）、27 日（火）全 2 回
- ② 場 所：コリドイオ多文化共生ルーム（講師はオンラインにて講義）
- ③ 参加者：16 名
- ④ 開催方法：講師はオンライン（ZOOM）、参加者はコリドイオ 3 階多文化共生ルーム
- ⑤ 参加費：2,000 円 賛助会員は無料とした。

5 ボランティア募集・派遣

（1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介

【概要】

各種団体からの要請に基づき登録ボランティアに依頼・派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与している。また、ボランティア制度の見直しをし、ニーズの少ないものは、事業終了とし、ニーズのあるものは、ボランティアの内容により、一定の能力を求める条件を追加することにした。

【実績】

- ① 通訳・翻訳：27 名（つくばフェスティバル、世界お茶のみ話、日本文化体験、まつりつくば、料理教室、保育園への派遣）
- ② 文化紹介：8 名（日本文化体験）
- ③ イベントスタッフ：45 名（日本文化体験、世界お茶のみ話、やさしい日本語で防災講座、Tsukuba City Chat Cafe）

(2) 外国人生活サポート事業

【概要】

来日間もない外国人の日常生活を「生活サポーター」が Facebook や Messenger を使って質問や疑問などに答えるほか、銀行口座の開設などについては、現地に赴き通訳や手続きの支援を行った。また、研修会を実施し活動の充実を図った。

【活動実績】

- ① 対応件数：3名
内訳・コメントでの回答：1名
・銀行口座開設と幼稚園への書類提出及び説明：1名
・キャッシュカードの再発行とデビットカードの発行手続き：1名
- ② サポーター登録者：13名
- ③ 利用登録者：27名

【研修会等の実績】

(外国人生活サポーターに加え通訳翻訳ボランティアの登録者も対象とした)

- ① 内 容：通訳ボランティアスキルアップ講座
期 日：2026年2月19日（木）
場 所：コリドイオ多文化共生ルーム（講師はオンラインにて講義）
参加者：10名
参加費：2,000円 賛助会員は無料とした。
- ② 内 容：学校通訳ボランティア養成講座
日 時：3月15日（日）
場 所：コリドイオ多文化共生ルーム
講師：西村明夫氏（一般社団法人日本公共通訳支援協会代表理事）
参加者：12名
参加費：無料
- ③ 内 容：外国人生活サポーター加入説明会
日 時：3月15日（日）
場 所：コリドイオ多文化共生ルーム
参加者：7名

(3) ボランティア交流会

【概要】

協会に登録している各種ボランティアによる活動紹介やこれから活動することに関心がある市民が相互に交流することにより、新たなボランティア登録者を獲得するとともに活動活性化を図ることを目的として実施した。

【実績】

ボランティア制度の見直しおよび改定に伴い、ボランティアの新規登録を勧誘するイベントの実施は混乱を招く可能性があるため、今年度の実施を見送った。

6 シティ・チャットカフェ

【概要】

筑波大学の協力により、協会事業として実施した。毎回、筑波大学の留学生5～8名がコーディネーターとして参加し、1班6～8名程度のグループに分かれ、英語でフリートーキングを行った。

【実績】

- ① 期 日：2025年6月15日～2026年1月18日（6回）
- ② 場 所：コリドイオ多文化共生ルーム、筑波大学グローバルヴィレッジ・コミュニティステーション2階
- ③ 参加者：205名、スタッフ41名
- ④ 参加費：無料 ※市外の方は賛助会加入が参加条件

開催日	参加者	スタッフ	会場
2025年 6月15日	43名	7名	筑波大学
7月20日	25名	5名	コリドイオ
10月19日	46名	8名	筑波大学
11月16日	18名	5名	コリドイオ
12月21日	40名	8名	筑波大学
2026年 1月18日	33名	8名	コリドイオ

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）

1 ニーズ調査・広報

（1）ホームページ・Facebook・Instagram

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、多言語で情報を発信した。

【実績】

イベント案内、報告、後援団体の情報を随時掲載した。

(2) Link! 発行

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、ニュースレターとして「Link!」を発行し、活動状況報告や直近のイベント予定などを掲載した。

【実績】

- ① 発行：Link! 第20号、第21号（2025年9月、2026年3月）発行。
- ② 発行部数：第20号：7,500部、第21号：800部
- ③ 配布先：賛助会員及び協会窓口にて配布したほか、つくば市中央図書館、窓口センター、交流センターなど市内各公共施設に配布した。
また、第20号については区会回覧も実施した。

(3) 案内パンフレットのリニューアル

【概要】

当協会の事業を広く周知するための案内パンフレットをリニューアルし発行した。

【実績】

当協会の概要や事業内容、賛助会やボランティア募集、アクセスなど、この先数年間使用できるよう内容を精査し掲載した。

(4) ニーズの把握

【概要】

2025年度協会事業参加者にアンケート又は口頭で事業時に感想を聞くなどして、今後の事業に反映した。

【実績】

お茶のみ話など、各事業終了時に、アンケート又は口頭により感想を聞いた。

2 多文化共生推進事業

【概要】

外国人が必要とする日常生活に関連する様々な多言語での情報発信や、日本人との交流、地域参画を推進したい人やグループに場を提供することを目的に、多文化共生コーディネーター計5名を配置した。（各者週1回配置）

【実績】

韓国、トルクメニスタン、アメリカ、ベトナム、中国各1名を雇用し、情報発信や各種交流事業を実施した。

3 賛助会員募集

【概要】

協会の支援者及び自主財源を得ることで、安定した協会運営を維持した。

【実績】

個人会員：78 口、 団体会員：2 口、 法人会員：13 口

会費合計：950,000 円

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

【概要】

つくば市民の旅券申請手続きに必要な印紙・証紙、葉書、切手などの販売及び証明写真の撮影を行うことで、市民へのサービス提供と当協会の財源確保を図った。

【実績】

年度別、パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影件数の推移
(単位：件)

年 度	印紙・証紙セット販売数			写真撮影
	10 年	5 年	12 歳未満	
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417
H29	5,672	2,788	1,350	3,252
H30	6,197	2,823	1,472	3,650
H31(2019)	5,945	2,767	1,381	3,323
R 2 (2020)	1,075	288	139	790
R 3 (2021)	916	254	189	727
R 4 (2022)	3,839	1,172	728	2,574
R 5 (2023)	6,471	2,750	1,383	4,357
R 6 (2024)	5,669	2,554	1,273	4,440
R 7 (2025)	4,319	2,189	972	3,837

2025 年度決算報告書

〔 自： 2025 年4月 1日 〕
〔 至： 2026 年3月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

貸借対照表

2026年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,650,842	25,162,363	△ 10,511,521
未収金	146,015	205,647	△ 59,632
棚卸資産	15,798,406	14,236,353	1,562,053
前払費用	83,855	47,629	36,226
流動資産合計	30,679,118	39,651,992	△ 8,972,874
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	3,207,000	1,298,000	1,909,000
特定資産合計	3,207,000	1,298,000	1,909,000
固定資産合計	6,207,000	4,298,000	1,909,000
資産合計	36,886,118	43,949,992	△ 7,063,874
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	1,000,000	△ 1,000,000
未払金	7,493,453	15,679,984	△ 8,186,531
前受金	638,210	1,133,560	△ 495,350
預り金	311,729	316,023	△ 4,294
流動負債合計	8,443,392	18,129,567	△ 9,686,175
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,207,000	1,298,000	1,909,000
固定負債合計	3,207,000	1,298,000	1,909,000
負債合計	11,650,392	19,427,567	△ 7,777,175
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	22,235,726	21,522,425	713,301
一般正味財産合計	22,235,726	21,522,425	713,301
正味財産合計	25,235,726	24,522,425	713,301
負債及び正味財産合計	36,886,118	43,949,992	△ 7,063,874

正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	636	51	585
基本財産受取利息	636	51	585
特定資産運用益	3,023	1,776	1,247
特定資産受取利息	3,023	1,776	1,247
事業収益	125,513,125	158,815,942	△ 33,302,817
旅券発給支援に関する事業収益	125,513,125	158,815,942	△ 33,302,817
受取補助金等	39,025,528	38,238,219	787,309
受取地方公共団体補助金	39,025,528	38,238,219	787,309
受取負担金	1,592,511	1,462,157	130,354
受取負担金	1,592,511	1,462,157	130,354
受取会費	948,000	392,000	556,000
賛助会員受取会費	948,000	392,000	556,000
受取寄付金	0	2,000	△ 2,000
受取寄付金	0	2,000	△ 2,000
雑収益	59,123	31,706	27,417
受取利息	59,123	15,188	43,935
雑収益	0	16,518	△ 16,518
経常収益計	167,141,946	198,943,851	△ 31,801,905
(2) 経常費用			
事業費	147,103,179	177,828,707	△ 30,725,528
国際交流事業費	23,059,976	21,786,267	1,273,709
給与(職員)	11,935,053	11,367,542	567,511
給与(非常勤職員)	898,049	2,118,321	△ 1,220,272
国際交流事業費	10,226,874	8,300,404	1,926,470
旅券発給支援に関する事業費	124,043,203	156,042,440	△ 31,999,237
管理費	19,325,466	18,972,345	353,121
給与(職員)	11,807,965	11,802,417	5,548
給与(非常勤職員)	1,995,580	0	1,995,580
本部運営費	5,521,921	7,169,928	△ 1,648,007
経常費用計	166,428,645	196,801,052	△ 30,372,407
評価損益等調整前当期経常増減額	713,301	2,142,799	△ 1,429,498
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	713,301	2,142,799	△ 1,429,498
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	713,301	2,142,799	△ 1,429,498
一般正味財産期首残高	21,522,425	19,379,626	2,142,799
一般正味財産期末残高	22,235,726	21,522,425	713,301
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	25,235,726	24,522,425	713,301

正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	636	0	636
基本財産受取利息	0	0	636	0	636
特定資産運用益	0	0	3,023	0	3,023
特定資産受取利息	0	0	3,023	0	3,023
事業収益	0	125,513,125	0	0	125,513,125
旅券発給支援に関する事業収益	0	125,513,125	0	0	125,513,125
受取補助金等	21,648,211	0	17,377,317	0	39,025,528
受取地方公共団体補助金	21,648,211	0	17,377,317	0	39,025,528
受取負担金	1,389,267	0	203,244	0	1,592,511
受取負担金	1,389,267	0	203,244	0	1,592,511
受取会費	0	0	948,000	0	948,000
賛助会員受取会費	0	0	948,000	0	948,000
雑収益	22,498	10,104	26,521	0	59,123
受取利息	22,498	10,104	26,521	0	59,123
経常収益計	23,059,976	125,523,229	18,558,741	0	167,141,946
(2) 経常費用					
事業費	23,059,976	124,043,203	0	0	147,103,179
国際交流事業費	23,059,976	0	0	0	23,059,976
給与(職員)	11,935,053	0	0	0	11,935,053
給与(非常勤職員)	898,049	0	0	0	898,049
国際交流事業費	10,226,874	0	0	0	10,226,874
旅券発給支援に関する事業費	0	124,043,203	0	0	124,043,203
管理費	0	0	19,325,466	0	19,325,466
給与(職員)	0	0	11,807,965	0	11,807,965
給与(非常勤職員)	0	0	1,995,580	0	1,995,580
本部運営費	0	0	5,521,921	0	5,521,921
経常費用計	23,059,976	124,043,203	19,325,466	0	166,428,645
評価損益等調整前当期経常増減額	0	1,480,026	△ 766,725	0	713,301
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	1,480,026	△ 766,725	0	713,301
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額					
他会計振替額	0	△ 766,725	766,725	0	0

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
当期一般正味財産増減額	0	713,301	0	0	713,301
一般正味財産期首残高	0	19,164,673	2,357,752	0	21,522,425
一般正味財産期末残高	0	19,877,974	2,357,752	0	22,235,726
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	0	19,877,974	5,357,752	0	25,235,726

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職金の支給に備えるため、定年退職及び自己都合による退職支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産 退職給付引当資産	1,298,000	1,909,000	0	3,207,000
小 計	1,298,000	1,909,000	0	3,207,000
合 計	4,298,000	1,909,000	0	6,207,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 預金	3,000,000	(3,000,000)	(-)	—
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(-)	—
特定資産 退職給付引当資産	3,207,000	(-)	(-)	(3,207,000)
小 計	3,207,000	(-)	(-)	(3,207,000)
合 計	6,207,000	(3,000,000)	(-)	(3,207,000)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。 (単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 一般財団法人つくば市 国際交流協会補助金	つくば市	—	39,025,528	39,025,528	—	—
合 計		—	39,025,528	39,025,528	—	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金	3,000,000	-	-	3,000,000
	基本財産計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	退職給付引当資産	1,298,000	1,909,000	0	3,207,000
	特定資産計	1,298,000	1,909,000	0	3,207,000

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,298,000	1,909,000	0	0	3,207,000

財産目録

2026年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額
(流動資産)	現金 預金	手元保管 普通預金 常陽銀行 常陽銀行 常陽銀行 常陽銀行	運転資金として	536,557	
			運転資金として	14,114,285	
			公益事業の運転資金として	4,531,197	
			旅券発給支援事業の運転資金として	5,434,472	
			管理事業の運転資金として	3,798,863	
			預り金用として	349,753	
	未収金 棚卸資産 前払費用		3 月分売りさばき手数料他	146,015	
			印紙・証紙在庫	15,798,406	
		4 月分借入金利息ほか	83,855		
流動資産合計				30,679,118	
(固定資産)	基本財産	定期預金 常陽銀行	基本財産運用益はつくば市国際交流 協会事業の財源として使用	3,000,000	
				3,000,000	
	特定資産	定期預金 常陽銀行	退職給付引当金の支払い財源として 積み立てている	3,207,000	
				3,207,000	
固定資産合計				6,207,000	
資産合計					36,886,118
(流動負債)	短期借入金 未払金 前受金 預り金 源泉所得税 ほか所得税 源泉市県民税 社会保険	常陽銀行	旅券旅券発給支援事業の運転資金とし て	0	
			3 月分賃金ほか	7,493,453	
			講座受講料ほか	638,210	
				311,729	
			源泉所得税	84,251	
			職員、臨時職員分	20,698	
			源泉市県民税	48,100	
			職員、臨時職員分	158,680	
流動負債合計				8,443,392	
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えた もの	3,207,000	
固定負債合計				3,207,000	
負債合計					11,650,392
正味財産					25,235,726

収支計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,000	636	364
基本財産利息収入	1,000	636	364
特定資産運用収入	0	3,023	△ 3,023
特定資産利息収入	0	3,023	△ 3,023
事業収入	172,797,000	125,513,125	47,283,875
旅券発給支援に関する事業収入	172,797,000	125,513,125	47,283,875
補助金等収入	45,316,000	39,025,528	6,290,472
地方公共団体補助金収入	45,316,000	39,025,528	6,290,472
負担金収入	2,180,000	1,592,511	587,489
受取負担金収入	2,180,000	1,592,511	587,489
会費収入	906,000	948,000	△ 42,000
賛助会員会費収入	906,000	948,000	△ 42,000
協賛金収入	370,000	0	370,000
協賛金収入	370,000	0	370,000
雑収入	1,000	59,123	△ 58,123
受取利息収入	1,000	59,123	△ 58,123
事業活動収入計	221,571,000	167,141,946	54,429,054
2. 事業活動支出			
事業費支出	198,201,000	145,812,179	52,388,821
国際交流事業費支出	26,404,000	21,768,976	4,635,024
国際交流人件費支出(職員)	10,786,000	10,644,053	141,947
国際交流人件費支出(非常勤職員)	1,300,000	898,049	401,951
国際交流事業費支出	14,318,000	10,226,874	4,091,126
旅券発給支援に関する事業費支出	171,797,000	124,043,203	47,753,797
管理費支出	21,505,000	18,707,466	2,797,534
人件費支出(職員)	11,337,000	11,189,965	147,035
人件費支出(非常勤職員)	3,210,000	1,995,580	1,214,420
本部運営費支出	6,958,000	5,521,921	1,436,079
事業活動支出計	219,706,000	164,519,645	55,186,355
事業活動収支差額	1,865,000	2,622,301	△ 757,301
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	1,909,000	1,909,000	0
退職給付引当資産取得支出	1,909,000	1,909,000	0
投資活動支出計	1,909,000	1,909,000	0
投資活動収支差額	△ 1,909,000	△ 1,909,000	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0

科 目	予算額	決算額	差 異
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
借入金返済支出	1,000,000	1,000,000	0
短期借入金返済支出	1,000,000	1,000,000	0
財務活動支出計	1,000,000	1,000,000	0
財務活動収支差額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
当期収支差額	△ 1,044,000	△ 286,699	△ 757,301
前期繰越収支差額	22,522,000	22,522,425	△ 425
次期繰越収支差額	21,478,000	22,235,726	△ 757,726

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、棚卸資産、前払費用、未払金、前受金及び預り金を含めて
いる。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	25,162,363	14,650,842
未 収 金	205,647	146,015
棚 卸 資 産	14,236,353	15,798,406
前 払 費 用	47,629	83,855
合 計	39,651,992	30,679,118
未 払 金	15,679,984	7,493,453
前 受 金	1,133,560	638,210
預 り 金	316,023	311,729
合 計	17,129,567	8,443,392
次期繰越収支差額	22,522,425	22,235,726

2026 年 5 月 14 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

理事長 布浦 万代 様

一般財団法人つくば市国際交流協会

監事 會田 文則 

一般財団法人つくば市国際交流協会

監事 麻生 恵 

私たち監事は、2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

2026 年（令和 8 年）度事業計画書

〔 自：2026 年 4 月 1 日
至：2027 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

2026 年（令和 8 年）度事業計画の方針

つくば市内の外国人市民数は、新型コロナウイルス感染症の拡大期を除き、毎年増加しており、2026 年(令和8年)2月1日現在、140 か国 14,613 人(対前年度同月比 642 人の増)、国籍別では、中国国籍者(25.5%)が最も多く、次いで、ベトナム(14.4%)、インド(7.0%)、韓国(6.2%)、インドネシア(5.4%)の順となっており、この上位5か国で全体の約6割を占めています。依然として、ベトナム国籍者が増加している状況です。

このような状況のもと当協会は、外国人市民が安心して生活できる環境整備と多文化共生の推進をするため、国際交流拠点となるコリドイオ3階の多文化共生ルームを中心に、幅広い年齢を対象とした各種日本語教室や、各国の文化や習慣を紹介する「世界お茶のみ話」などを開催すると共に、1階の和室や調理室などを活用して、茶道体験、外国の料理教室など、外国人市民と日本人市民との交流を促進してきました。

また、つくば市では、令和5年3月「第2次つくば市グローバル化基本指針」を策定し、「外国人・日本人の区別なく、すべての人にとって住みやすいグローバル都市」を目指すゴールとしました。

このような状況に鑑み、当協会は、2026 年(令和8年)度も引き続き、つくばのグローバル化の実現に向けた多様な担い手として、市民の積極的な参画を得て各種協会事業を推進し、新たに、小中学生を対象とした学校生活への架け橋となるプレスクール・プレクラスの開催により、子どもの支援の充実を図ります。実施にあたっては、行政、教育機関及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えると共に、この国際交流拠点をいかしながら、次の重点目標に取り組んでいきます。

【重点目標】

1. 外国人生活支援体制の充実

既に実施している、こどもから大人までの幅広い年齢を対象とした各種日本語教室を引き続き実施すると共に、新たに、つくば市に転入する外国人児童生徒等が早期に円滑な学校生活に移行できるよう、プレスクール・プレクラス(小中学校の就学ガイダンスや日本語初期指導を行うこと)を始めます。

また、これらを進める上で必要な支援体制の強化に向けて、ボランティアの確保とフォローアップ、活動しやすい環境整備を引き続き進めます。

2. 文化交流事業の充実

つくば市に住む外国人が年々増加している中で、様々な国の文化や習慣、価値観などを理解し尊重することは多文化共生社会を目指す上で大変重要です。

そのため、多文化共生コーディネーターや市内在住の外国人を中心に市民の文化交流を深める事業を計画すると共に、引き続き「世界お茶のみ話」や「料理教室」などを開催し、異文化交流を促進します。

3. 外国人への情報提供とコミュニティの活性化

外国人市民の生活環境を向上させるためには、情報提供の強化とコミュニティ活動の活性化が重要です。

そのため、多文化共生コーディネーターによる外国人の視点に立ったホームページや SNS 等での多言語による情報発信を強化します。

また、外国人サポート事業のコミュニティ活動がさらに活発になるよう進めます。

年度別 事業計画 比較表

国際交流事業

2026 年度事業計画
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）
1 大人の日本語講座 （１）大人の日本語講座 （２）大人の日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学・進学支援 （１）プレスクール・プレクラス （２）こども日本語勉強会（小学生） （３）こども日本語勉強会（中高生） （４）15歳から18歳までのこども日本語勉強会 （５）こども日本語支援者研修会 （６）小中学校就学・高校進学ガイダンス （７）こども日本語支援プラットフォーム会議
3 メディカル英会話講座
4 やさしい日本語で防災講座
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）
1 つくばフェスティバル
2 文化交流 （１）世界お茶のみ話（講演会） （２）日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流
4 通訳ボランティア入門講座
5 ボランティア募集・派遣 （１）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 （２）外国人生活サポート事業（「おとなりさん」運営） （３）ボランティア交流会
6 Tsukuba City Chat Cafe
C 情報収集・発信事業 （対象：外国人・日本人）
1 広報 （ホームページ・facebook・Instagram・広報誌発行）
2 多文化共生推進事業
3 賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2025 年度事業計画
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）
1 日本語（大人向け） （１）日本語講座 （２）日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学・進学支援 （１）こども日本語勉強会（小中学生） （２）こども日本語勉強会（高校生） （３）15歳から18歳までのこども日本語勉強会 （４）こども日本語支援者研修会 （５）小中学校就学・高校進学ガイダンス （６）こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア派遣
4 メディカル英会話講座
5 やさしい日本語で防災講座
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）
1 つくばフェスティバル
2 文化交流 （１）世界お茶のみ話（講演会） （２）日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流
4 通訳ボランティア入門講座
5 ボランティア募集・派遣 （１）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 （２）外国人生活サポート事業 （３）ボランティア交流会
6 シティ・チャットカフェ
C 情報収集・発信事業 （対象：外国人・日本人）
1 広報 （ホームページ・facebook・広報誌発行）
2 多文化共生推進事業
3 賛助会員募集

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2026 年（令和 8 年）度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1	日本語（大人向け） （1）大人の日本語講座 （2）大人の日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学・進学支援 （1）プレスクール・プレクラス（新規） （2）こども日本語勉強会（小学生）（拡充） （3）こども日本語勉強会（中高生）（変更） （4）15 歳から 18 歳までのこども日本語勉強会 （5）こども日本語支援者研修会 （6）小中学校就学・高校進学ガイダンス （7）こども日本語支援プラットフォーム会議
3	メディカル英会話講座
4	やさしい日本語で防災講座
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1	つくばフェスティバル
2	文化交流 （1）世界お茶のみ話（講演会） （2）日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流
4	通訳ボランティア入門講座
5	ボランティア募集・派遣 （1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 （2）外国人生活サポート事業（「おとなりさん」運営） （3）ボランティア交流会
6	Tsukuba City Chat Cafe
C 情報収集・発信事業（対象：外国人・日本人）	
1	広報（ホームページ・facebook・Instagram・広報誌発行）
2	多文化共生推進事業
3	賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2026 年（令和 8 年）度つくば市国際交流協会事業詳細

国際交流事業

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）

1 大人の日本語講座

（１）大人の日本語講座

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：市内在住外国人を対象に、日常生活に必要な日本語（入門から初級）の修得を目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・クラス編成は、参加者とボランティア講師の希望に沿い調整し、オンラインと対面で実施していく。
- ・日本語ボランティア講師（TIVONA の会）と協力し、外国人と交流をしながら日本語指導ができるボランティアの確保と指導スキルのレベルアップ研修会を実施し、初心者でも安心して活動できる環境を作る。

④概要：

- ・クラス：対 面 → 昼４クラス、夜１クラス、
オンライン → 夜５クラス
- ・期 間：４月～２月
- ・場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・回 数：昼夜クラス 年 30 回
- ・定 員：各クラス 15 名

※ 教室運営は日本語ボランティア講師（TIVONA の会）が担当する。

（２）大人の日本語ボランティア講師入門講座

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：日本語講座で講師をするボランティアを養成することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

TIVONA の会の協力を得て、初心者が安心して参加できる体制を作り、実際の授業を見学しながら指導者として授業ができるようになるよう実施する。

2024 年度から、受講の機会を増やすため、年 2 回開催している。

④概要：

- ・回 数：年 2 回（１回：オンデマンド講座 4 時間、対面講座 1 日程度）
- ・賛助会員の特典事業とする。

2 こども日本語・就学・進学支援

(1) プレスクール・プレクラス

①【新規・**拡充**・継続・縮小・廃止】

②目的： 海外から来日し、つくば市に転入後間もない就学年齢（1年生から9年生）の児童生徒及び、4月に新小学1年生になる幼児に対し、プレスクール・プレクラスを実施し、ひらがなやカタカナ、生活言語や初期の日本語を一定期間集中的に学ぶことで、学校生活への不安が軽減することを目的として実施する。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 登録日本語教員や長く学校で日本語支援を行なってきた、日本語学習支援の専門家を雇用することで、子ども一人ひとりに寄り添いながら初期の日本語学習支援を行う。また、プレスクール・プレクラス終了後は、早期に学校生活に適應できるよう、学校など関係部局と連携する。

④概要：

<プレスクール>

- ・ 実施月：2027年3月
- ・ 期 間：10日間（3月前半コース、後半コース）
- ・ 場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・ 対 象：2027年4月に新1年生になる幼児
- ・ 内 容：ひらがな、カタカナ、サバイバル日本語、生活言語など

<プレクラス>

- ・ 実施月：4月～2月（4月、6月、9月、11月、2月に開校）
- ・ 期 間：学年により20日～30日間
- ・ 場 所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・ 対 象：来日間もない1～9年生
- ・ 内 容：ひらがな、カタカナ、サバイバル日本語、生活言語、基本的な語彙、小学1年生程度の漢字など（学年や個人の習得度合いによる）

<その他>

- ・ 保護者向け小中学校就学ガイダンスを行う

(2) こども日本語勉強会（小学生）

①【新規・**拡充**・継続・縮小・廃止】

②目的： 市内の学校では、日本語支援が必要な児童生徒が毎年増加している。放課後などに個々のレベルに合わせた日本語学習支援を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 2025年度は小中学生を対象としていたが、中学生と高校生と一緒にすることとし、小学生の受け入れを5年生以上から4年生以上に拡充する。

④概要：

- ・ 期間：5月～3月
（4月は保護者面談、以後随時受付。8月はお休み）
- ・ 学校の夏休み期間は勉強会をお休みとし、支援者の教材

研究、研修を行う。

- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・ 対象：主に日本語を使って学ぶ市内の学校に通う小学4年生から6年生まで
- ・ 回数：週2回（年70回程度）

※ 日本語学習方法などの児童生徒や保護者からの疑問に対するアドバイスも適宜行うとともに、様々な状況に柔軟に対応する。

（3）こども日本語勉強会（中高生）

①【新規・**拡充**・継続・縮小・廃止】

- ②目的： 高校に入学したものの、日本語の習得が十分ではないために退学などを余儀なくされている生徒も多いことから、そのような生徒のために、在学中や卒業後の進路を見据えた日本語支援を行う。
また、進学するために日本語を学ぶことを意識できるように中学生と高校生を一緒に編成にする。

③事業の工夫、予算上の特徴

2025年度は週1回だったが、週2回に拡充する。

また、17:00 から開始することで、部活動をする生徒にも対応する。

④概要：

- ・ 期間：5月～3月
（4月は保護者面談。以後随時受付。8月はお休み）
- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・ 対象：中高生
- ・ 回数：週2回、年70回程度
- ・ 内容：高校への進学、または高校での学習や卒業後の進路目標も見据えた日本語学習を実施する。

（4）15歳から18歳までのこども日本語勉強会

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

- ②目的： 学齢期を過ぎた外国につながるこどもが中学校や高校に編入する場合、日本語の習得状況によって進学や就職が難しいことが多い。
こうした状況を改善するために基礎的な日本語学習の場を提供することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

参加者が少ない状況が続いているが、様々な機会を通じて周知していく。また、可能であれば学齢期にも関わらず不就学となっている児童生徒にも対応していきたい。

④概要：

- ・ 期間：5月～3月
（4月保護者面談。以後随時受付。8月はお休み）
- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム
- ・ 回数：週2回、年70回程度
- ・ 内容：日常生活や進学、仕事などニーズに合わせた日本語学習を実施する。

(5) こども日本語支援者研修会

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： こどもの発達などに合わせた日本語の指導方法を学び、こども日本語勉強会の支援者増加を図ることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

ボランティア登録者は多いが、実際に活動に繋がる方は限られており、人材確保のため、継続して実施していく。可能であれば2回実施する。

④概要：

- ・ 実施時期：7月から12月頃
- ・ 回数：1回～2回（1回あたり5日間）
- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルーム

※ 研修会受講者は、こども日本語勉強会の見学、実習を経て、当協会にボランティア登録を行うとともに、上記（1）～（3）で活動する。

(6) 小中学校就学・高校進学ガイダンス

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 日本の学校制度について分かりやすく説明することにより、就学や進学を目指す外国につながる児童生徒や保護者が、できるだけ早い時期から準備できるようにしていくことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 各小中学校では進学説明会などが実施されているが、外国につながる児童生徒や保護者に対して母語での説明でないことが多いことから、言葉の問題に加え、学校制度や文化の違いにより内容を理解できていないことも多い。
- ・ 参加者の母語を使って説明することでより理解が深まることが期待できる。
- ・ 要望があれば、可能な限り学校に出向き対応していく。
- ・ チラシの翻訳言語を増やすことで、母国語しかわからない保護者に伝わりやすくする。
- ・ 小中学校就学ガイダンスは、プレスクール・プレクラスにおいて、個別に実施するが、当該事業に参加していない家庭を対象に実施する。

④概要：

- ・ 期間：年2回
- ・ 場所：コリドイオ 多文化共生ルームなど
- ・ 内容：
 - ・ 小中学校の就学ガイダンス
 - ・ 高校進学ガイダンス

(7) つくばこども日本語支援プラットフォーム会議

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： つくば市内に在住する、日本語支援が必要な児童生徒の置かれた状況を、それに携わる団体等がその状況を共有するとともに、協会

事業に対する具体的な提案をいただき、実際の活動に繋げていくことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 2026 年 4 月からプレスクール・プレクラスが開始されることから、参加団体の意見を伺いながら事業の参考にする。

④概要：

- ・ 実施回数：年 2 回程度
- ・ 参加団体：筑波大学、日本国際学園大学、茨城 NP0 センターコモンズ、日本語学校、学校日本語支援ボランティア、つくば市教育局学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課など

3 メディカル英会話講座

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 外国人患者が病院を受診する際に、受付から診療まで英語でスムーズな対応ができるようになることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 外国人講師から、患者の気持ちに寄り添った対応の仕方、英語を母語としない人にも伝わるやさしい英語で話すコツを学ぶ。
- ・ 賛助会員の特典事業とする。

④概要：

- ・ 回 数：年 1 回 11 月
- ・ 場 所：オンライン
- ・ 対 象：病院・クリニックの受付事務担当者、看護師、医師など医療従事者

4 やさしい日本語で防災講座

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 日本に住む期間が短い外国人の方々は、地震などの災害に対して不安を感じていることが多い。防災に関する講演や体験会を行うことで、防災に関する知識や対処方法を周知することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

防災及びやさしい日本語に対する専門知識や経験のある外部団体と共催し、外国人に対して理解しやすい内容で周知できるよう工夫する。

④概要：

- ・ 期 日：10 月の防災の日前後
- ・ 回 数：年 1 回
- ・ 場 所：コリドイオまたはフィールドワーク
- ・ 講 師：防災士など
- ・ 参加者：150 人程度

B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）

1 つくばフェスティバル

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：世界の舞踊や歌の披露、料理等の販売、国際理解プログラムなどを行うことで、多様な人々の相互理解や市民交流、地域参画など、国際交流と多文化共生社会を推進することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・開催方法や規模については、参加希望者状況などにより柔軟に対応していく。
- ・2025年度に引き続き、出店ルールに食中毒等への対策を盛り込む。
- ・賛助会員の特典事業とする。

④概要：

- ・実施日：5月16日（土）、17日（日）
- ・募集团体：飲食・物販・団体紹介など23団体程度、ステージ発表11団体程度

2 文化交流（世界お茶のみ話、日本・外国文化体験など）

（1）世界お茶のみ話（講演会）

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：つくばに繋がりのある外国人が、母国やその周辺で起こっていることを伝え、課題を共有するとともに、日本又はつくばから何ができるのかなど、講演者と聴講者との間で意見交換をすることで、相互理解と交流促進をすることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

他事業と連携し講演者を募る。また、質疑応答の内容により講演者や聴講者が不快にならないよう、柔軟に対応する。

④概要：

- ・実施日：毎月第3土曜日 10:00～11:30
- ・回数：年12回
- ・場所：コリドイオ 多文化共生ルーム

（2）日本・外国文化体験

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的：各国の料理や文化体験を通して、多文化共生（国際理解）の促進に寄与することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・実施が長時間に及ぶ傾向を踏まえ、参加者が手持ち無沙汰や単調さを感じないように、入念な事前準備を行う。
- ・お茶のみ話や多文化共生コーディネーターなど他事業と連携し講師を募る。

④概要：

- ・回数：年5回程度
- ・場所：コリドイオ 多文化共生ルーム、大会議室、調理・実習

室など

- ・ 内 容：日本・外国料理、各国文化体験など

3 姉妹友好都市交流

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

- ②目的：文化体験やホームステイなどを通して、未来を担う中学生が、お互いの考えや価値観を知り・理解して、将来的に両国の懸け橋となることを目的とする。

② 事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 韓国大田広域市の中学生が3泊4日で行くつくば市を訪問するにあたりホームステイ2泊とし、つくばと大田の中学生が交流する時間を十分に確保する。

④概要：

- ・ 大田から中学生16名をつくばに迎え、3泊4日のスケジュールで行くつくばの中学生と交流を深める。
- ・ 実施日：8月20日～23日（3泊4日）
 - 1日目 歓迎式
 - 2日目 日本文化体験（着物着付け、茶道体験）
 - 3日目 ホームステイ先で、日本文化等を体験
 - 4日目 修了式

4 通訳ボランティア入門講座

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

- ②目的：つくば市には、外国語を生かした活動を希望する人が多いことから、通訳や翻訳の経験のない人に対して、ボランティア通訳の心構えや基礎を提供し、実践に結びつけることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 外国人講師が経験を元に、コミュニティ通訳のノウハウを教えるとともに、多文化共生コーディネーターも参加し、通訳を練習する。
- ・ 賛助会員の特典事業とする。

④概要：

- ・ 回 数：年1回 2月頃を予定

5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣

（1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

- ②目的：市民・留学生・JICA研修員などの依頼者に対し、通訳やホームステイ等の支援を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

文化紹介については、子どもにも分かりやすい資料作成を依頼しており、同時にやさしい日本語を使って説明を行うよう推奨している。

各種ボランティアについて派遣の現状等に合わせ見直しをする。

④概要：

- ・通訳、翻訳：随時
- ・文化紹介

日本や外国の文化の紹介のため、協会事業のほか、市内小学校・幼稚園・保育所、特別支援学校などに派遣：随時

- ・ホームステイ：随時

(2) 外国人生活サポート事業（「おとなりさん」の運営）

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的：日常生活の各種手続きや「つくばでの初めての体験」について不安がある在住外国人を対象に、既に経験のある日本人や外国人が『サポーター』として隣人のように寄り添いサポートする Facebook 上のコミュニティ「おとなりさん」を運営する。

③事業の工夫、予算上の特徴

特に、来日間もない外国人や、初めて子どもを保育園、幼稚園、学校に入れる外国人の保護者に対して支援する。

また、日常生活の通訳などだけでなく、日本文化体験などを提供できるサポーターを増やし、利用者の増加とコミュニティの活性化に向けて工夫する。

④概要：

- ・「外国人生活サポーター」
新人サポーター研修会：7月頃（1回）
新人サポーター登録説明会：9月頃
- ・「おとなりさん」の運営
期 日：通年
方 法：Facebook
利用者募集：登録説明会開催時

(3) ボランティア交流会

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的：協会に登録している各種ボランティアが交流することにより、他の活動を知るとともに、活動の機会を増加させることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・過去数年間に活動したボランティアの方々の体験を聞くとともに、協会の活動を活発にするための意見交換を行い、事業へ反映できるものを探っていく。
- ・実施方法については、今後検討する。

④概要：

- ・期 日：12月頃
- ・回 数：年1回

- ・ 場 所：コリドイオ 多文化共生ルームなど
- ・ 講演者：協会登録ボランティア 10 名程度
- ・ 内 容：事例発表、グループミーティングなど
- ・ 参加人数：50 人

6 Tsukuba City Chat Cafe

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 筑波大学の留学生を中心に、市民が英語で気軽に会話を楽しみながら交流できる場を提供し、多文化共生の理解促進及び国際交流の推進を図ることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

主に市内在住・在勤・在学者を参加対象としているが、市外からも賛助会への加入を条件に参加可能としている。なお、2024 年度まで共催していた筑波大学には、2025 年度に引き続き、開催案内や留学生スタッフ募集時の周知などにご協力いただく。

④概要：

- ・ 回 数：年 6 回程度
- ・ 場 所：コリドイオ大会議室
- ・ 協 力：筑波大学

C 情報収集・発信事業（対象：外国人・日本人）

1 広報

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 協会の事業を広く市民に周知することで、理解や多方面での支援をいただくことを目的に、各種広報媒体を活用し情報発信を行う。

③事業の工夫、予算上の特徴

当協会のホームページや SNS、広報誌の区会回覧の他、市国際都市推進課や他機関とも連携し、効果的な情報発信を行う。

④概要：

ホームページや facebook、Instagram、広報誌などを通じて周知する。

- ・ ホームページや facebook、Instagram：随時
- ・ 広報誌：年 2 回発行

2 多文化共生推進事業

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国人が必要とする日常生活に関連する様々な情報の多言語発信や、日本人との交流および外国人の日本理解を推進するための文化体験講座の企画運営をすることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

外国人が必要とする情報の発信と問題点の聞き取りをするため、多文化共生コーディネーターとして外国人を雇用する。

また、つくばには2026年2月1日現在、140カ国14,613人の外国人が居住している。様々な言語で発信できるよう5カ国のコーディネーターを雇用する。

④概要：

- ・多文化共生コーディネーターの配置
- ・主な業務
 - ・コミュニティの形成支援
 - ・外国人向け情報提供コーナーの設置及び運営
 - ・各種広報媒体を活用した多言語での情報発信
 - ・国際交流拠点の交流スペースでの外国人と日本人の市民の交流の場の設置に係る事業の立案・実施
- ・雇用：平日各曜日1カ国（合計5カ国）の外国人を雇用
- ・時間：午前8時30分から午後5時15分まで

3 賛助会員募集

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 外国人支援や在住外国人との交流を深めるとともに、国際交流を通して多文化共生、国際理解、姉妹・友好都市との交流や財政面からも支援いただける方を募ることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

多くの方に共感いただき、支援いただけるような事業展開や情報発信を進めていく。

会員にメリットがある事業を企画していく。

④概要： 協会を資金面から支援いただくために募集を行う。

個人会員 一口 2,000円／年度

団体会員 一口10,000円／年度

法人会員 一口20,000円／年度

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 市民のパスポート発行に伴う利便性の向上を図るため、パスポート用の写真撮影、印紙・証紙、切手等の販売を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

7月からパスポート取得に必要な手数料（印紙）の額が大幅に減額となり、手数料収入が減ることが予想される。また、オンライン申請の開始やクレジット決済も実施されていることから、事業の縮小も含めて注視、検討していく。

④概要：

- ・営業日：月曜～金曜日（土日祝、12月29日～1月3日休み）
- ・時間：午前8時45分～午後4時30分（窓口時間）

2026 年度収支予算書

〔 自：2026 年 4 月 1 日
至：2027 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

2026 年度収支予算書(資金収支計算ベース)

2026 年4月1日から 2027 年3月31日まで

(単位:千円)

科目	2026 年度	2025 年度	増減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	1	1	0
基本財産利息収入	1	1	0
②事業収入	77,778	172,797	△ 95,019
旅券発給支援に関する事業収入	77,778	172,797	△ 95,019
③補助金等収入	67,396	45,316	22,080
地方公共団体補助金収入	67,396	45,316	22,080
プレススクール	23,030	0	23,030
プレススクール以外	44,366	45,316	△ 950
④負担金収入	2,027	2,180	△ 153
受取負担金収入	2,027	2,180	△ 153
⑤会費収入	906	906	0
賛助会会費収入	906	906	0
⑥協賛金収入	0	370	△ 370
協賛金収入	0	370	△ 370
⑦雑収入	1	1	0
受取利息収入	1	1	0
雑収入	0	0	0
事業活動収入計	148,109	221,571	△ 73,462
2事業活動支出			
①事業費支出	122,391	198,201	△ 75,810
国際交流事業支出	44,613	26,404	18,209
給与支出(職員)	9,317	10,786	△ 1,469
給与支出(非常勤職員)	0	1,300	△ 1,300
事業費支出	35,296	14,318	20,978
旅券発給支援に関する事業支出	77,778	171,797	△ 94,019
②管理費支出	23,809	21,505	2,304
給与支出(職員)	12,466	11,337	1,129
給与支出(非常勤職員)	3,546	3,210	336
本部運営費支出	7,797	6,958	839
事業活動支出計	146,200	219,706	△ 73,506
事業活動収支差額	1,909	1,865	44
II 投資活動収支の部			
1投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2投資活動支出の部			
①特定資産取得支出	1,909	1,909	0
退職給付引当資産取得支出	1,909	1,909	0
投資活動支出計	1,909	1,909	0
投資活動収支差額	△ 1,909	△ 1,909	0
III 財務活動収支の部			
1財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2財務活動支出			
①借入金返済支出	0	1,000	△ 1,000
短期借入金返済支出	0	1,000	△ 1,000
財務活動支出計	0	1,000	△ 1,000
財務活動収支差額	0	△ 1,000	1,000

科目	2026 年度	2025 年度	増減
IV 予備費支出			
当期収支差額	0	△ 1,044	1,044
前期繰越収支差額	21,478	22,522	△ 1,044
次期繰越収支差額	21,478	21,478	0